

週刊粧業

発行所 週刊粧業®
東京都台東区上野1-18-9
(旧門前ビル3F) 〒110-0005
電話 (03) 3836-2601
FAX (03) 3836-2602

週刊粧業ホームページアドレス
<http://www.syogyo.jp>
E-メールアドレス
letter@syogyo.jp
©週刊粧業 2020

※週刊粧業消費者アンケート特集号
(2016年、2019年のPDFデータ付き)

**2019年度
消費者調査データ
CD-ROM**

お求めはホームページ
<http://www.syogyo.jp/>
より。

**第6回インターフェックスWeek
医薬品・化粧品研究・製造展
開催記念特集号**

第6回 インターフェックスWeek 大阪 第6回 再生医療 EXPO 大阪

西日本最大 350社が出展



リード エグジジション ジャパン
早田匡希事務局長

2月26日(水)から3日間開催

リードエグジジションジャパンは、2月26日(水)〜28日(金)の3日間、インテックス大阪(1・2号館)において「第6回インターフェックスWeek 大阪」(医薬品・化粧品研究・製造展) (以下、インターフェックス)と「第6回再生医療EXPO大阪」(旧称・再生医療産業化展) (以下、再生医療展)を同時開催する。医薬品・化粧品を製造・研究開発するためのあらゆる機器・システム・技術が結集する専門技術展として、医薬品・化粧品の研究者や生産・製造に携わる従事者を対象としている。インターフェックス・再生医療展を合わせ、前年比1.10社増の350社が出展予定で、来場者数は2万人を見込む。今展示会の魅力について早田匡希事務局長に話を伺った。

AIやIoT・ロボット揃えた 注目度の高い新ゾーンを開設

— 前回、来場者数が急増しました。
早田 前回は、関西地域での招待券の発送件数を従来比約2倍の30万件に増やし、大阪・兵庫・徳島の各工場からの直通バスを運行しました。また、注目テーマのセミナーを10本増やし、約80講演を開催しました。こうした複合的な要因により、2019年は来場者数が1万6000名と一気に増加しました。

— 新設ゾーンについてお聞かせください。
早田 化粧品・医薬品メーカーにとって、生産効率の向上や人手不足の解消が大きな悩みとなっ

— 併設セミナーの見どころについて教えてください。
早田 化粧品メーカー向けの特別講演では、資

化粧品業界向けの講演が充実 生産・製造技術を幅広く網羅

ている中、工場のIoT 特注目度の高い展示化、生産・製造におけるAIやロボットの活用がその解決策として注目を集めているという点で、今回は新たに「IoT・ロボットゾーン」を立ち上げました。製造現場におけるビッ

大日本印刷にパッケージを取り巻く環境と持続可能な原料調達やCO2の削減などについてお話しいただきます。

また、化粧品メーカーやOEMメーカーの生産部門にとっては、AIやIoT、ロボットといったテクノロジーを実際にどう工場に適用するのかというところが課題となっており、それに対応したセミナーも複数用意しています。

具体的には、AIやデータ分析を包装

クデータを分析・可視化し、お客様と共に「生産性向上」「技術スタッフのスキルアップ」を実現するシステムで、さらなる経営の安定成長に貢献するサービスです。

また、アズビルの「オンライン異常予兆検知システム Big EYE S」は、AIが品質・設備・環境を24時間オンラインで監視し、微細な予兆を早期に検知するシステムです。バッチプロセス監視に対応しており、既に2000を超える監視モデルが国内で稼働しています。

工程や外観異物検査に組み込み生産工程へ導入した事例や、「IoT化」を実現に必要なものをテーマにした講演、製造分野や物流分野でのロボット活用事例なども聞くことができます。

— 来場者に向けてメッセージをお願いします。
早田 インターフェックスは医薬品分野のイメージが強いかもしれませんが、化粧品メーカー向けの生産設備や検査装置、包装容器なども数多く展示しています。

化粧品メーカー向けのセミナーも充実しております。来場して得られる情報は大きいと思います。

特集ページでは化粧品メーカー向けの出展企業情報をまとめているほか、研究者の負担を軽減する「ラボオートメーション」や、「受託サービス」(IoT化・AI)についてのページを公開しておりますので、ぜひ来場の参考にしてください。

今後も化粧品メーカーによる講演や「サステナブルパッケージソリューション」のような、化粧品業界向けのセミナーをますます増やしていきます。多くの方のご来場をお待ちしています。